

参考 - 3歳以上6歳未満の幼児の肥満度判定方法 -

- 3歳以上6歳未満の幼児を対象に、幼児身長体重曲線（性別・身長別標準体重）を用いた評価方法とします。
- 肥満度の判定区分のうち、「肥満」については、+15%以上、「やせ」については、-15%以下を評価対象とします。

$$\text{肥満度} = [\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)}] / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100 (\%)$$

区分	呼称
+30%以上	ふとりすぎ
+20%以上+30%未満	ややふとりすぎ
+15%以上+20%未満	ふとりぎみ
-15%超+15%未満	ふつう
-20%超-15%以下	やせ
-20%以下	やせすぎ

【平成12年乳幼児身体発育調査の結果に基づく身長別標準体重の算出式】

- 男児 標準体重 = $0.00206 \times \text{身長}^2 - 0.1166 \times \text{身長} + 6.5273$
- 女児 標準体重 = $0.00249 \times \text{身長}^2 - 0.1858 \times \text{身長} + 9.0360$

幼児身長体重曲線（性別・身長別標準体重）による肥満度の評価方法については、平成12年乳幼児身体発育調査の結果に基づき作成されています。集団の長期的評価や医学的な判定においては、関係学会の見解等に基づき、平成12年乳幼児身体発育調査の結果に基づく値を用い、母子健康手帳においては、直近の調査にもとづく乳幼児の現況を示すものであることから、平成22年乳幼児身体発育調査の結果に基づく値が用いられています。

これらを踏まえ、本評価においては、集団の長期的評価を行う観点から、平成12年乳幼児身体発育調査の結果に基づき作成されたものを用いることとしますが、平成22年乳幼児身体発育調査の結果に基づき作成されたものを用いても差し支えないこととします。

身長別標準体重の早見表及び肥満度判定区分の簡易ソフトは、保健医療科学院ホームページよりダウンロードできます。

保健医療科学院ホームページ <http://www.niph.go.jp/soshiki/07shougai/hatsuiku/>